



児童生徒の発達の段階に応じた言語活動の重点

言語活動		① 体験から感じ取ったことを表現する	② 事実を正確に理解し伝達する	③ 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする	④ 情報を分析・評価し、論述する	⑤ 課題について、構想を立てて実践し、評価・改善する	⑥ 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる
発 達 の 段 階	国語科による各教科の基盤となる言語に関する基礎的な知識・技能 国語科における能力の育成	○音読・暗唱などの技能 ○感性・情緒と関連した表現・修辞を理解する技能 ○喜怒哀楽などの感情を、言葉とともに身体などを使って表現する技能 ○古典文学作品を通した伝統や文化的背景に関する知識	○事実と意見を区別して説明する技能 ○漢字・語彙・文法などを適切に使う技能 ○記録・描写など事実を正確に伝える技能 ○レジュメ、物語のあらすじなど、情報を要約して伝える技能	○抽象的な用語の意味を理解して説明する技能 ○視点を変えたりほかの事象と関連付けたりして、多面的・多角的に物事を見て、的確に分析する技能 ○相手・目的・場面に応じて適切に説明する技能	○結論を示した上で、その判断の基礎となる考え方を根拠をもって説明する技能 ○文章の形式や内容について、既得の知識や自らの経験などに照らして評価を行った上で論述する技能 ○複数の媒体やテキスト等を活用して、媒体の特性を踏まえて情報を評価する技能	○討論、議論などを通じて、建設的な合意形成を目指した言語活動をする技能	
	小学校 低学年	見たことや知らせたいことを記録し説明や紹介をしたり、体験したことを報告したりすることができる能力	体験的・具体的な活動の中で気付いたこと、感じ取ったことを記述・報告する	体験的・具体的な活動を通して、そこに見られる変化やきまりを見付け、説明したり活用したりする	体験的・具体的な活動を通して、違いを見付け、気付いたことを述べる	自分の思いをもって体験的に学習を進め、その結果を振り返る	体験的・具体的な活動を振り返り、気付いたことを発表し合う
	小学校 中学年	調べたことや観察・実験したことを記録・整理し、説明や報告にまとめて書き、資料を提示しながら発表することができる能力	具体的な活動や調査活動の中で調べたこと、考えたことを表現する	具体的な活動や調査活動を通して、調べたこと、考えたことを記述・報告する	二つの事象の関連をとらえ、考えたことを説明したり活用したりする	学習課題に対して、比較したり、関連付けたりしながら調べ、考えを述べる	学習に見通しをもつて進め、その結果を評価する 調べたこと、考えたことを発表し合いまとめたり、意見を述べたりする。
	小学校 高学年	目的に応じて自分の立場から解説や意見、報告を書き、理由や根拠を示しながら説明をすることができるとともに、自らの言語活動を振り返ることができる能力	学習活動の中で考えたこと、相手に伝えたいことを理由や根拠を示しながら、表現する	課題を調べる活動を通して、考えたこと、相手に伝えたいことを理由や根拠を示しながら、記述・報告する	幾つかの事象を組み合わせたり、事象間の変化の規則性に着目したりしてとらえ、理由や根拠を明確にしながら考えたことを説明したり活用したりする	学習課題に対して、関連付けたり、条件に目を向けたりしながら調べ、多面的に考えたことを筋道立てて述べる	様々な条件に着目しながら計画的に見通しをもって学習を進め、結果を評価・改善する 考えたこと、相手に伝えたいことをもとに理由や根拠を示しながら話し合い、帰納的に考えまとめる。
	中学校	社会的な事柄を含む広い範囲から課題を見付け、根拠を明確にしながら自分の考えを簡潔にまとめて記述したり、多様な文章や資料の形にまとめ、分かりやすく発表したりすることができる能力	学習活動の中でもった自分なりの思いや考えを根拠を明確にしながら、簡潔に分かりやすく表現する	課題を調べる活動を通して、導き出されたことに根拠を明確にしながら、自分の考えを加えて記述し、報告する	事象間を関連付けて考察し、根拠を明確にしながら分かったことを自分の解釈を加えて説明したり、活用したりする	学習課題に対して、関連付けてとらえたり、分析・解釈したりして調べ、考察したことを自分の言葉でまとめ演繹的に論述する	課題を見付け、見通しや目的意識をもって学習を進め、その結果を解釈し、評価・改善する 自分の考えの根拠を明らかにして簡潔にまとめて、説明し、集団の考えを発展させる